

自分の道

中学二年生の息子が不登校になった。素直で明るくて、おしゃべりが大好きな息子が「行きたいけど行けない」と。まさか、自分の子どもが不登校になり、引きこもってしまうとは考えてもいなかった。それだけに、原因が何か突き止めようと焦った。そして、私自身の子育てがいけなかったのでは？と自分を責めることしかできなかった。毎日のように泣いていた私。何を見ても、何を食べても、誰と話しても悲しくなってしまう。心のやり場のない日を半年ほど過ごした。

ある朝、息子から山の景色が見たいから山にドライブに連れて行ってと言われた。久しぶりここへも行っていなかった。息子とスマホで行き先を調べて二人きりのドライブ。忘れかけていた本来の息子がそこにいた。久しぶりに心が解放され、息子がこんなことを言った。「オレは母さんみたいには生きられないけど、オレがオレらしく生きられるよう悩ませて」と。何も考えてないわけではなかった。

むしろ、他の誰よりも自分のこれからの行き先を考えていたからこそ苦しくなったんだと思った。私は、息子に自分の価値観を押し付けていたのかもしれない……。その一言が私の心のモヤモヤしたものを全て吹き飛ばしてくれた。

それから私は、息子を信じると決めた。不登校になった原因探しもやめた。彼の興味のあることに目を耳を心をかたむけてみた。すると共通の話題がたくさんできた。笑いも増えた。もっと自分に目を向けるとメッセージを送ってくれていたのに私も気づけなかったことに気づかされた。

中学三年生になった息子は、学校へ行きはじめた。「オレ船の勉強したいから、船の学校行きたい」と言われた時、嬉しくて号泣した。彼のこれから歩む道を母なりに全力で応援していきたい。